

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.10.24 第 170 回国会第 1 号

10 月 24 日、第 1 回の委員会が開かれました。

1 田中委員長から就任の挨拶が行われました。

2 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 後藤田 正 純君（自民）

補欠選任 理事 木 村 隆 秀君（自民）（理事野田聖子君去る 8 月 2 日委員辞任につきその補欠）

理事 山 本 明 彦君（自民）（理事奥野信亮君去る 9 月 19 日委員辞任につきその補欠）

理事 吉 田 六左工門君（自民）（理事大野功統君去る 9 月 19 日委員辞任につきその補欠）

理事 江 崎 洋一郎君（自民）（理事田中和徳君去る 9 月 29 日委員長就任につきその補欠）

理事 竹 本 直 一君（自民）（理事後藤田正純君今 24 日理事辞任につきその補欠）

3 国政調査承認要求に関する件

- ・以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

財政に関する事項

税制に関する事項

関税に関する事項

外国為替に関する事項

国有財産に関する事項

たばこ事業及び塩事業に関する事項

印刷事業に関する事項

造幣事業に関する事項

金融に関する事項

証券取引に関する事項

4 中川財務・金融担当大臣、竹下財務副大臣、平田財務副大臣、谷本内閣府副大臣、三ツ矢財務大臣政務官、末松財務大臣政務官、宇野内閣府大臣政務官からそれぞれ就任の挨拶が行われました。

5 財政及び金融に関する件

- ・中川財務・金融担当大臣、谷本内閣府副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）日本銀行総裁 白 川 方 明君

（質疑者及び主な質疑内容）

亀 井 善太郎君（自民）

- ・中小企業に対する貸し渋り、貸し剥がし問題に対する大臣の現状認識を伺いたい。
- ・2006 年以降の金融引締め策に対して日銀はどのように評価しているか。
- ・各国の協調利下げに加わらなかった理由は何か。

谷 口 隆 義君（公明）

- ・来月開催予定の G20 金融サミットで中川大臣はどのような発言をする予定か。
- ・中川大臣が提案した、財政危機に陥った新興国に対する緊急融資制度の意義及び内容について伺いたい。
- ・中小企業に対する貸し渋り、貸し剥がし問題に対する大臣の現状認識を伺いたい。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・中川大臣は所管金融機関等から政治献金を受けたことがあるか。
- ・メガバンクの税負担率はどの程度か。
- ・中小企業に対する税徴収についての大臣の見解を伺いたい。

中 川 正 春君（民主）

- ・麻生総理大臣が消費税増税の検討を指示したとの報道について、中川財務・金融担当大臣の見解を伺いたい。
- ・与謝野経済財政政策担当大臣が金融機能強化法の復活に関して「資本注入のための昔の法律をもう一度登場させる必要があるほど、現時点で経営が悪化しているところはない」と発言したが、中川財務・金融担当大臣の見解と相違があるのではないか。
- ・世界的な金融危機のなかで、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS、損失肩代わり商品）取引についての実態把握が必要ではないか。

小 沢 鋭 仁君（民主）

- ・2006年の金融引締めと、今回の景気後退の関係について、日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・現在の日本に有効な景気対策は、財政政策より金融政策ではないのか。
- ・不動産価格及び株価下落を止める有効な税政策について、中川大臣の見解を伺いたい。

池 田 元 久君（民主）

- ・「安心実現のための緊急総合対策」に盛り込まれた定額減税の経済効果及びその財源について中川大臣に伺いたい。
- ・国の借金返済に充てる資金である財投特会の準備金を減税に充てるのは赤字国債を発行することと同じではないか。
- ・定額減税の多くは消費にまわらないと考える中、定額減税にかかる金額は「連立のコスト」と言えるのではないか。